



**ICHIKEN**

# 第89期 株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日



株式会社 **イチケン**

証券コード:1847

### 経営理念

より豊かで快適な

『くらし空間』の創造

### Contents

ごあいさつ	P1
業績ハイライト	P2
営業のご報告	P3
財務諸表	P5
トピックス	P7
会社概要／株式情報	P9

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。おかげさまで本年6月に当社は創立85周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社第89期における営業のご報告にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

私こと、長谷川博之は、平成27年6月26日付にて代表取締役社長を拝命いたしました。経営体制のより一層の強化と、更なる企業価値の向上を目指し全力で取り組む所存でございますので、前任者同様、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当期におきましては、建設業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況のなか、「商業施設」の建築及び内改装工事に加え、住宅や介護施設等の受注活動にも継続的に取り組んでまいりました結果、売上高及び各利益ともに当初の予想を上回る結果を残すことができました。

当社を取り巻く経営環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想されますが、株主の皆様のご期待により一層応えるべく、社員一同一丸となってさらに努力する所存でございますので、株主の皆様には一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成27年6月

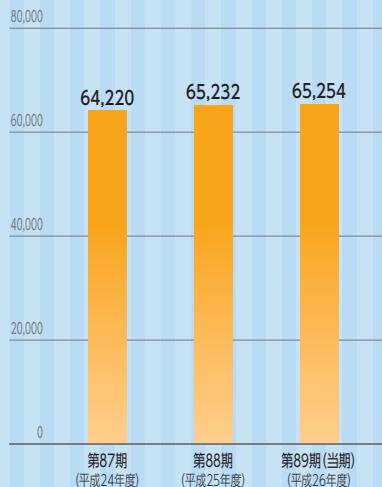


代表取締役社長

長谷川 博之

(単位:百万円)

## 受注高



## 売上高



## 手持工事高



## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益



### 創立85周年を迎え、「商業施設のイチケン」として 今後もより豊かで快適な『くらし空間』を創造し続けます。

#### 当期の概況

当期におけるわが国経済は、経済・金融政策による円高是正等を背景として持ち直しの兆しが見られ、先行きについては消費税増税後の個人消費の回復の遅れや海外の景気減速の懸念等は残るものの、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

建設業界におきましては、公共投資や民間設備投資の増加等持ち直しの動きが見られるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による住宅建設の減少や技能労働者の不足に伴う労務費の高騰及び資材価格の上昇など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は受注拡大のため、コア事業である「商業施設」の建築及び内改装工事に加え、住宅や介護施設等の受注活動にも継続的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の業績につきましては、受注高は前期並みの652億5千4百万円(前期は652億3千2百万円)となりました。売上高は前期比8.5%増の677億3千万円となりました。その内訳は、建設事業が前期比8.6%増の670億9百万円、不動産事業が前期比2.4%増の7億2千1百万円であります。次期への繰越工事高は前期比4.0%減の416億6千3百万円となりました。

損益につきましては、完成工事高の増加や前期以前に受注した低採算工事の一巡による利益率の改善などに

より完成工事総利益が増加したため、営業利益は前期比134.0%増の23億5千8百万円、経常利益は前期比75.1%増の23億2千1百万円となりました。また、賃貸用不動産の一部について、減損損失4億1千万円を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は前期比41.0%増の10億4千3百万円となりました。

以上のとおり、売上高、各利益ともに業績予想を上回る結果となりました。



## 次期の見通し

建設業界におきましては、消費税増税に伴う景気減速や技能労働者不足に伴う労務費の高騰及び資材価格の上昇等による工事採算性の悪化などが懸念され、今後も厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況において、当社におきましては、「商業施設の建築事業を中核とした特性のあるゼネコン」、「安定成長する事業基盤の構築」を基本方針として企業価値の向上を目指してまいります。

重点施策といたしまして、引き続き「商業施設」の建築及び内改装工事に重点的に取り組むとともに、住宅・介護・スポーツ・アミューズメント施設の建築などへも積極的な取り組みを行い、受注の拡大に努めてまいります。

また、併せて「企画提案型営業の推進」や「業務効率化による経費削減」等を行い、売上高の安定確保と利益改善を図ってまいります。

なお、次期の見通しにつきましては、売上高が当期比2.6%減の660億円、営業利益が当期比40.6%減の14億円、経常利益が当期比44.0%減の13億円、当期純利益が当期比5.5%増の11億円と予想しております。

## 株主の皆様へ

当社はおかげさまで本年6月に創立85周年を迎えました。これを記念して、1株当たり2円の記念配当を加え、1株当たり7円(普通配当5円、記念配当2円)の配当を実施させていただきました。

当社は、「商業施設のイチケン」としての特性を最大限に生かし、「より豊かで快適な『くらし空間』を創造する事で広く社会へ貢献する企業」として、その役割を果たしていく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜り、当社を大きく育てていただきますように心からお願い申し上げます。

ガーラ・ステーション横濱関内



### ●貸借対照表

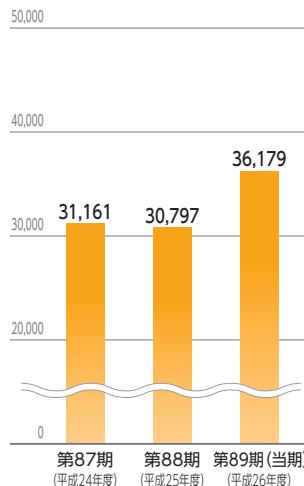
(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	31,396	25,663
固定資産	4,783	5,134
有形固定資産	2,765	3,248
無形固定資産	38	42
投資その他の資産	1,978	1,843
資産合計	<b>ポイント①</b> 36,179	30,797
<b>負債の部</b>		
流動負債	23,448	19,247
固定負債	3,585	3,356
負債合計	<b>ポイント②</b> 27,034	22,603
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,613	7,742
資本金	4,305	4,301
資本剰余金	190	186
利益剰余金	4,136	3,272
自己株式	△19	△18
評価・換算差額等	487	407
新株予約権	43	43
純資産合計	<b>ポイント③</b> 9,145	8,194
負債純資産合計	36,179	30,797

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

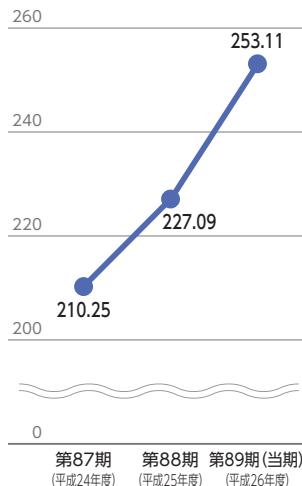
### 総資産

(単位:百万円)



### 1株当たり純資産

(単位:円)



#### ポイント① 資産合計

資産合計は前期末に比べ53億8千1百万円増加し、361億7千9百万円となりました。主な内容は、工事完成基準適用の工事出来高の増加に伴う未成工事支出金の増24億5千7百万円であります。

#### ポイント② 負債合計

負債合計は前期末に比べ44億3千万円増加し、270億3千4百万円となりました。主な内容は、工事出来高の増加による支払手形の増28億3千9百万円であります。

#### ポイント③ 純資産合計

純資産合計は前期末に比べ9億5千万円増加し、91億4千5百万円となりました。主な内容は、利益剰余金が前期に係る期末配当により1億7千9百万円減少したものの、当期において当期純利益を10億4千3百万円獲得したため、8億6千3百万円増加したことあります。

## ● 損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高	67,730	62,424
売上原価	63,368	59,470
売上総利益	4,362	2,953
販売費及び一般管理費	2,003	1,946
営業利益 <b>ポイント④</b>	2,358	1,007
営業外収益	128	433
営業外費用	165	115
経常利益 <b>ポイント⑤</b>	2,321	1,325
特別利益	37	—
特別損失	410	169
税引前当期純利益	1,949	1,156
法人税、住民税及び事業税	844	519
法人税等調整額	62	△102
当期純利益 <b>ポイント⑥</b>	1,043	739

## ● キャッシュ・フロー計算書

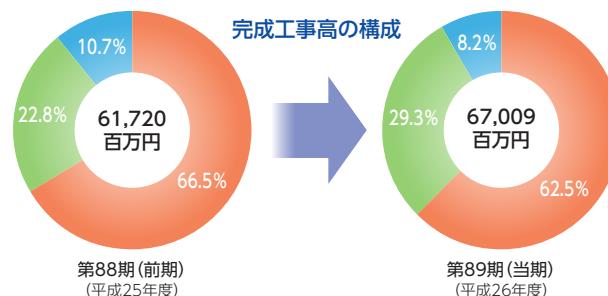
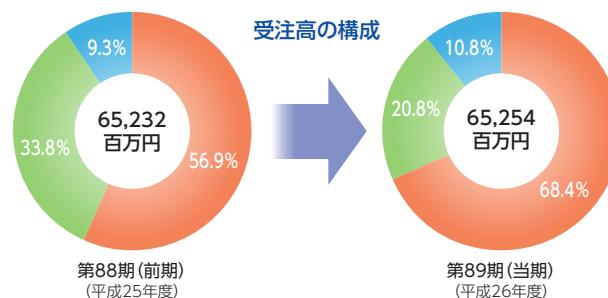
(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー <b>ポイント⑦</b>	775	△1,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184	△182
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	446	△2,057
現金及び現金同等物の期首残高	6,925	8,983
現金及び現金同等物の期末残高	7,372	6,925

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 建設事業の概況

商業施設 住宅 その他



### ポイント④ 営業利益

前期以前に受注した低採算工事の一巡による利益率の改善などにより、営業利益は当初予想を大幅に上回り、前期比134.0%増の23億5千8百万円となりました。

### ポイント⑤ 経常利益

経常利益は、貸倒引当金戻入れ益(営業外収益)が前期に比べ減少したものの、営業利益の増加等により、前期比75.1%増の23億2千1百万円となりました。

### ポイント⑥ 当期純利益

当期純利益は、賃貸用不動産の一部についての減損損失4億1千万円を特別損失に計上したものの、経常利益の増加等により、前期比41.0%増の10億4千3百万円となりました。

### ポイント⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前当期純利益及び仕入債務の増加などにより、7億7千5百万円の資金の増加となりました。

## 施工事例

## ●より豊かで快適な『暮らし空間』の創造

基本構想からマーケティング、そして設計・施工の空間づくりに関わるすべての業務を一貫して高い品質で創造すること。それが私たちイチケンの仕事であります。それはイチケンならではの蓄積された情報・ノウハウ、広いネットワーク力に支えられています。当社は、品質の向上と安全の徹底に努め、いかなるときもクリエイティビティを発揮し、より豊かで快適な『暮らし空間』の実現を目指します。



## イオンタウン 熊本田崎店

(熊本県熊本市)

竣工：平成26年12月

構造：S造 2階建

延床面積：9,192.91㎡

## GEMS市ヶ谷

(東京都千代田区)

竣工：平成26年10月

構造：S造一部RC造 地下1階 地上9階建

延床面積：1,499.48㎡



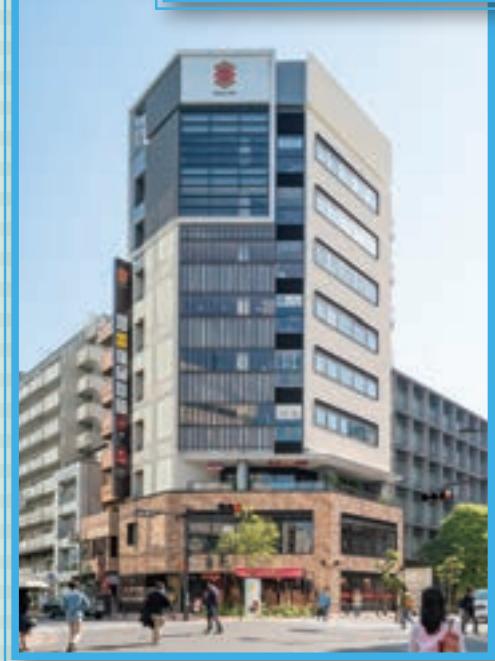
## ユア-戸田

(埼玉県戸田市)

竣工：平成26年10月

構造：S造 3階建

延床面積：4,090.50㎡



## ● イチケンニュース

### 当社施工物件が「グランプリ」を受賞!!

平成27年3月に当社施工物件「させぼ五番街(長崎県佐世保市)」が佐世保市主催の『第一回 させぼ景観グッドケアコンテスト』でグランプリを受賞しました。



### ● 会社概要

(平成27年3月31日現在)

商号	株式会社イチケン
創業	昭和5年6月
資本金	43億564万5,530円
営業種目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員数	556名
取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 東日本銀行 他

### ● 役員

(平成27年6月26日現在)

#### 取締役および監査役

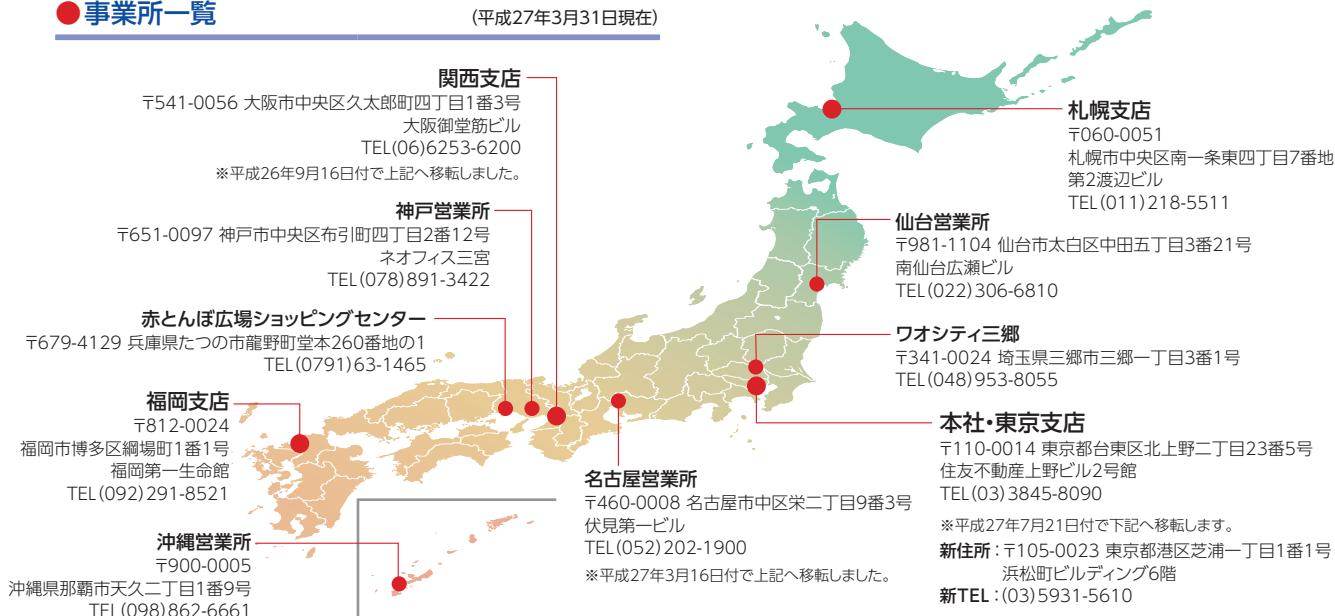
代表取締役社長	長谷川 博之	取締役(社外)	藤田 進
取締役	吉田 稔	取締役(社外)	武内 秀明
取締役	古川 仁一	常勤監査役	木村 隆夫
取締役	西出 英雄	監査役(社外)	西村 正明
取締役(社外)	本山 洋平	監査役(社外)	青柳 正敏

#### 執行役員

社長執行役員	長谷川 博之	執行役員	佐々 英昭
常務執行役員	吉田 稔	執行役員	野崎 晃
常務執行役員	古川 仁一	執行役員	阿野 浩二
常務執行役員	湯ノ口 智治	執行役員	山口 清人
執行役員	西出 英雄	執行役員	磯野 慶治

### ● 事業所一覧

(平成27年3月31日現在)



## ●株式の状況

(平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数	111,200,000株
発行済株式の総数 (自己株式104,729株を含む)	36,062,000株
株主数	4,690名

## ●大株主

(平成27年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハン	11,714	32.57
株式会社 三井住友銀行	996	2.76
全国一栄会持株会	864	2.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	845	2.35
株式会社 三菱東京UFJ銀行	592	1.64
日本証券金融株式会社	568	1.57
株式会社 SBI証券	499	1.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	451	1.25
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	330	0.91
白根進一	321	0.89

- (注) 1. 持株数上位10名の株主について記載しております。  
 2. 持株数は、1,000株未満の株式数を切り捨てて表示しております。  
 3. 持株比率は、各株主の持株数(1,000株未満の持株数を含む)の自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パーセントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。  
 4. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会であります。

## ●所有者別株式分布の状況

(平成27年3月31日現在)



(注) 自己株式を除外した比率を記載しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 配当金受領株主確定日 毎年3月31日 なお中間配当を実施する 場合の株主確定日は 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページ) <a href="http://www.ichiken.co.jp">http://www.ichiken.co.jp</a> 但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

### お知らせ

#### ▶株式に関する住所変更等のお申出先について

1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主様  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
2. 特別口座に株式をお持ちの株主様  
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ▶未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

## 当社ホームページのご案内

<http://www.ichiken.co.jp>



当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業案内やIR情報など充実した情報を適時、掲載しています。



株式会社 **イチケン**

〒110-0014 東京都台東区北上野二丁目23番5号 住友不動産上野ビル2号館  
電話(03)3845-8090 (9:00~18:00、土・日・祝日・年末年始を除く)

